

カリキュラム・マネジメントを生かした取組



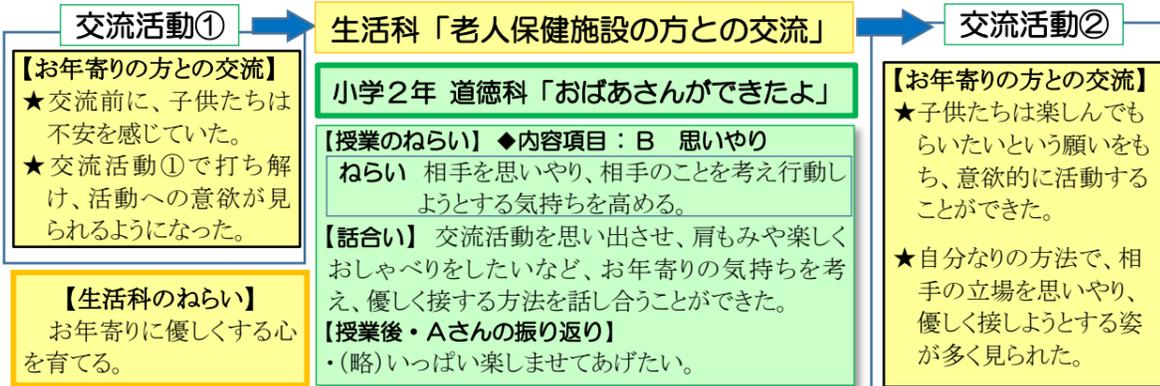
道徳科と各教科・行事等に関連付けるときのポイントは？

「関連付けることで、指導の効果が高められるかどうか」がポイントです。各教科等の目標と道徳科の目標や内容項目等を確認しましょう。

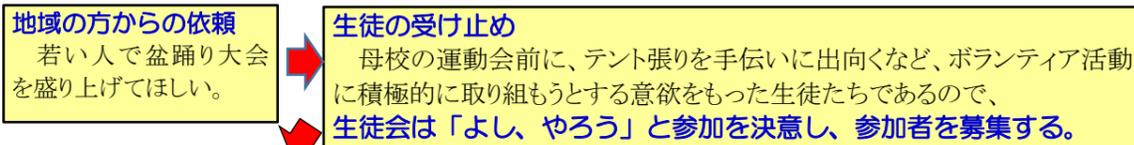
例えば、「行事に取り組む意欲を高めたり、行事による学びを深めたりできるか」がポイントです。行事の「前・中・後」のどこで道徳科の授業をするとより効果的なのかを考えることが大切です。



生活科の交流活動と交流活動の間に、道徳科の授業を位置付け、実践しました



地域行事に関連付けて、道徳の授業を実践しました



学年教師の願い 互いの考えや思いを共有し、ボランティア活動への意欲と郷土への愛着心を高めたい。その後、活動に取り組ませたい。

中学2年 道徳「私の町」
【授業のねらい】 ◆内容項目：C 郷土を愛する態度
ねらい 社会の一員としての自覚を高め、郷土への愛着心を育成する。
【話し合い】 町の行事を盛り上げるための苦労や、その意義について多面的に話し合うことができた。
【授業後・Bさんの振り返り】
・(略)地域の人々の要望に応えたい。生徒会のボランティアに参加し、地域に喜んでもらいたい。



道徳科における効果的かつ多様な指導方法



「考え、議論する道徳」の授業にするポイントは？

答えが一つではない課題を取り上げ、道徳的価値を自己との関わりで多面的・多角的に考える授業を展開することがポイントです。そのためには、発問や板書など指導方法を工夫したいですね。



どのような子供の考えが引き出せるかを見通し、発問を考えました

小学5年 道徳科「手品師」 ◆内容項目：A 正直 誠実

【発問と予想される考え】

○発問「どうして男の子の所に行ったのでしょうか」
発言(予想) 「○○だからかな」 → ●●●
「○○を言いたいから…」 → ■■■
「○○をしたかった」 → ★★

【板書を考える】

どうして男の子の所に行ったのか
●●● ■■■ ★★

三つに分類して違いを明確にしよう。

○発問「自分が手品師だったら、どんなことを大切にしますか」
発言(予想) 「○○と考えたけれど、自分だったら●●かな」
「自分だと迷うけれど、●●を大切にしたい」

「自分だったら」と考えさせ、根拠や理由を引き出したいですね。
→ さらに、板書で考えの深まりが見えるようにしましょう。

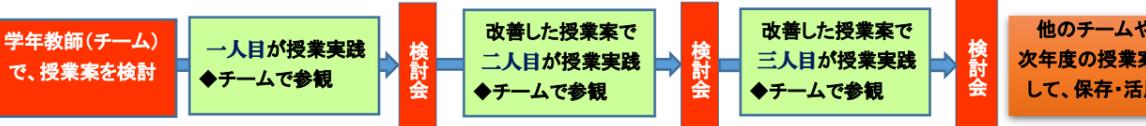
構造的な板書を工夫しました【意見の違いや対立等の見える化、話し合いの焦点化】

目標
小鈴谷の子供に夢を 迷った 師範学校の先生になろう

小鈴田の子 久左衛門 都会 人が多い
大切 ありがとう 師はん学校 に行った お金 便利
毎日たくさん 勉強した

78円の命 写真 命 写真
写真 <人間> <猫>
命は平等 「猫の命と人間の命の重さは 違いますか」
どうして猫だけ? 同じ ←→ 違う
与えられたものは同じ

授業の充実と授業力の向上を目指して、中学校で「学年リレー道徳」を実践しました



※ チームは若手、中堅、ベテランで編成した。
【成果】
・チームで、同じ授業案をもとに実践・改善を繰り返したため、他の教師の工夫がよく分かり参考になった。
・生徒の考え方や出てくる意見を見通すことができ、生徒の考えを広げたり、深めたりすることができた。

道徳科の評価

評価は、何のためにするの？



評価の目的は、二つです。

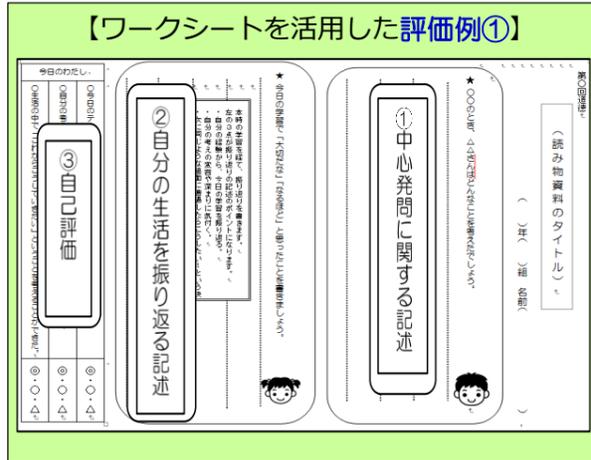
- ① 児童生徒が、自らの道徳性養おうとする意欲を高めるため、自分の学習や成長を振り返る契機とするためです。
- ② 教師が、指導計画や指導方法を改善するための手がかりとするためです。



評価例① 子供は中心発問に対する自分の考えを、授業の最後に見つめ直すことができます。
教師は、子供への評価に加えて、授業（発問等）改善に活用できます。

何を評価するの？

【ワークシートを活用した評価例①】



評価例② 授業の振り返り等から、
・道徳的価値に対する考え方の変容
・学習プロセスでの学びの深まり等
を見取り、評価することが大切です。
記録をファイリングし蓄積することで
子供の道徳性に係る成長の様子を見取
ることができます。

道徳性や人間性を評価するものではありません。



【1枚ポートフォリオを活用した評価例②】

<p>学習前 6月21日 何かすごいことをやりきったとき、テスト勉強をがんばってよい点数を取れたときとか、今まで練習してきたことがうまくいったとき。</p>	<p>学習後 11月13日 全員と一緒に支え合って最後まで物事を成し遂げたとき、はつきりとした結果が出なくても、自分が決めたことを最後までやりきただけでも満足できると、「最後のリレー」を見て思った。</p>
<p>学習前・学習後に書いた文章を比べて、思ったことや感じたことを書いてみよう 学習前は、どちらかという自分だけのことを考えていただけで、学習後は、周りの人のことも考えているように思えた。合唱コンクールで、みんなと合唱してみても「自分一人だけではだめなんだ」と思い、仲間の大切さをすごく実感した。そのおかげで、仲間と助け合い、支え合うことが大事という考えに変わった。</p>	<p>先生からのメッセージ 一人一人支え合うことで2倍にも、3倍にもできることが増えていきます。</p>

◆行事後の感想や道徳科授業の振り返りを、1枚ポートフォリオに記述し、ファイリングしていきます。

道徳科の授業を振り返ってみませんか ～よりよい道徳科の授業づくりのために～

下記の項目を参考にして、自分自身の授業を振り返ってみましょう。

また、授業改善としても御活用ください。

- 子供たちの心に響く教材だった。
- ねらいや教材は、発達段階を踏まえたものだった。
- 中心発問は、ねらいに迫るものだった。
- 子供たちの心を揺さぶる補助発問ができた。
- 子供たちの発言を共感的に受け止めた。
- 子供たちの思考の流れやつながりの分かる構造的な板書だった。
- 終末は、道徳的価値を心にとめるための適切なものだった。
- 子供たちは、教材や友達と交流することで、考えを深めた。
- 子供たちに自分を見つめさせる手立てがあった。



「特別の教科 道徳」を要とした道徳教育の充実

—カリキュラム・マネジメントを生かした効果的かつ多様な指導方法と評価の工夫・改善—

道徳科と各教科・行事等を、どのように関連付けられるといいの？

「考え、議論する道徳」の授業にするためには、どんな工夫をすればいいの？



地域行事と関連付けて道徳の授業を実践するには、どのようにすればいいの？

道徳科の評価は、どのようにすればいいの？

【研究推進校】 常滑市立常滑東小学校 豊橋市立羽根井小学校
一宮市立西成中学校 西尾市立寺津中学校

研究推進校等の実践例をおりませながら、疑問に答えます。